Gunma Prefecture 群馬県

令和８年１１月１０日
群馬県立文書館　古文書係
電話：027-221-2346

2,318 点の古文書・絵図を新たに公開しました！

群馬県立文書館では、例年、１万点以上の古文書を数回に分けて新たに公開しています。

この度新たな古文書・絵図を閲覧いただく準備ができましたので、閲覧可能となった文書を以下に御案内します。





１　今回公開した古文書・絵図

①　前橋市紅雲町　大図軍之丞氏収集文書（626 点）

群馬県職員および前橋市助役を務めた大図軍之丞氏が収集した文書群です。在職時の行政関係資料や辞令、感謝状類が大部を占めます。その他の史料としては、大図氏が群馬県社寺兵事課職員として編さんに携わった『上毛古墳総覧』に関連する資料や、それに付随する宮内省諸陵寮職員との書簡が特筆されます。これらの史料は群馬県の文化財保護行政の歴史を物語る上で欠かせない史料です。また、大図氏が個人的に収集したと思われる多胡碑の拓本や県内各地に所在する中世石造物、各種句碑及び歌碑の拓本類、昭和 20 年空襲日記の写しを入手した際の書簡も大変興味深い史料です。

他にも鈴木貫太郎や楫取素彦の書、県庁舎として利用されていた頃の前橋城(写真上)や市内の写真等もあり、軍之丞氏が作成したらしい県勤務時のアルバム（昭和 11～31 年、職員集合写真や児童相談所等の落成式、視察・講習といった各種行事の記念写真等）は記録も丁寧で注目されます(下写真)。

②　吾妻郡長野原町川原湯区有文書（マイクロ紙焼き 1,692 点）

江戸期には温泉地として盛んであったという川原湯区に伝来した文書群です。近世文書はおよそ 100 点で、うち宗門人別帳９冊、年貢割付約 50 点、諸役の請取等が多くなっています。温泉関係はいずれも元治元年(1864)の「夫銭湯掛り差引帳」、「湯普請入用帳」の２点です。近現代文書はおよそ 1,500 点で、温泉資料が多く含まれます。かつて川原湯温泉取締所という組織が存在し、管理・運営を行っていたようです。明治 30 年(1897)頃の「宿泊人着発并浴銭調査表」は各旅館で宿泊・温泉利用の人数を男女別に日ごとに記録した資料、「温泉拝借料取立帳」も明治から昭和期に区長の下作成されています。区費といった徴収簿・領収書も多く、林野関係や道路・橋の建設に係わる資料等も含まれています。

※複製本による公開です（原本ではありません）

２　場　所　群馬県立文書館　２階　閲覧室　（前橋市文京町３丁目 27-26）

３　時間等　開館時間：9:00～17:00　休館日：月曜日、月末日、国民の祝日、特別整理期間

４　その他　撮影は無料（スマートフォンやカメラをお持ちください）。複写は１枚につき、白黒は 10 円、カラーは 50 円。『ぐんまの古文書　続編』（1,009 円）等も販売中。

群馬県立文書館では、現在、約 31 万点の古文書（原本）、約６万点のマイクロフィルム収集古文書、約７万点の群馬県史収集複製資料（ともに閲覧は複製本）等を公開し、県民の皆様をはじめ、広く一般の方々、研究者の方々などに御利用いただいており、歴史の確かな証拠である貴重な古文書や絵図の原本を直接手に取って御覧いただくことができます。

詳しい御利用方法、収蔵資料の目録、最新情報等は、当館ホームページで御確認ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS